

業界の魅力向上へ

40周年表彰も 道設備設計事務所協会



北海道設備設計事務所協会は18日、ポールスタール札幌で新年交礼会と創立40周年記念表彰式を開いた。新年交礼会は2020年1月以来の開催

新年と創立40周年の門出を祝った

で、来賓23人を含め約200人が参加。飛躍の年を誓うとともに、協会運

営に貢献した5氏と入会20年以上の8社を表彰し、その功績をたたえた。山田修会長は「学校のエアコン設置、照明のLED化、防衛省の施設強靱化で需要増が見込まれる。25年度には全建築物で省エネ基準適合が義務付けられるため、業界への依頼がますます増える」とする一方、「BIMなど初期投資の増加、担い手不足や働き方改革などの課題に対応するため、報酬アップと業界の魅力向上に努めよう」と呼び掛けた。

道建設部の細谷俊人建築企画監は「ゼロカーボン北海道の推進でZEBやLEDに加え、本年度からエアコン設置を進める」と説明。札幌市の中村範仁都市局長は「市立学校のエアコン設置は設計施工一括方式で発注していく」と伝えた。

北海道建築工務事務所協会の庄司雅美会長が乾杯の首領を取った後、記念表彰式を挙げる。会長、副会長を4年以上務めた山田会長、高木晃元副会長、木村清美元副会長、高橋融副会長、田中昌己副会長のほか、永年事務所功労の8社に感謝状を贈った。

が改定され、より実態に即した算出が可能となった」と報告。道防衛局の久松輝幸調達部長は「主要施設の強靱化を5カ年で進めるため、皆さまのお力添えを」と要請した。